

1. 活動内容

（1）資源の把握および開発

・新たな取り組みとして令和4年5月20日から、地域に顕在する身近な福祉課題等について民間事業者等が地域貢献として取り組む活動とのマッチングを通じ、地域福祉の推進を目的に「地域福祉パートナーシップ事業者認定制度」を策定し、地域の新たな資源開発を行った。

令和5年3月末現在 5社

大橋運輸株式会社
株式会社クリップハート
中部電力パワーグリッド株式会社 旭名東営業所
雪印ビーンスターク株式会社 中部支店
日本生命保険相互会社 瀬戸営業部

・ふくしボランティアフェスティバル内において地域で積極的に地域貢献活動を行っている民間事業所等企業を紹介するコーナーを設置し、地域住民への周知を図った。

また、冒頭の地域福祉パートナーシップ事業者認定制度と合わせて、社協 HP や SNS (Instagram、Facebook)、瀬戸旭在宅医療介護連携推進協議会のもーやっこネットワークでも周知を行った。

・コロナ禍の中、地域の居場所として推進している「よりどころ」も中止・縮小せざるを得ない状況が続いていたが、令和5年5月8日のコロナ5類移行に向けて、徐々に再開しつつある。また新たに申請したいという住民からの声も増えている。

令和5年3月末現在 48ヶ所

（2）ネットワーク構築

・地域で活躍する各団体、関係機関、NPO 法人、ボランティア団体等との情報共有に努めた。

行政が実施する瀬戸市生活支援・介護予防サービス提供主体等協議体会議に出席し、コロナ禍におけるつながりの希薄化の中で新しい生活様式に合わせた外出機会の創出に向けてどのような取り組みができるか、各委員と意見交換をするとともに、今後に向けた生活支援サービスのあり方・取り組みについて検討し、連携体制の構築に取り組んだ。

・瀬戸市から高齢者移動支援事業の業務委託を受け、道泉連区の移動支援に取り組む中で、瀬戸自動車運送株式会社、アピタ瀬戸店、DCM カーマ21瀬戸店と協力関係を構築することができた。

・瀬戸市高齢者移動支援検討会議に出席し、参加者から頂いた声などを合わせて事業報告を行い、今後の事業の進め方を検討し、連携体制の構築に取り組んだ。

(3) サービスの担い手の養成

行政が実施する瀬戸市生活支援・介護予防サービス提供主体等協議体会議にて提言された「地域の活性化に向けた高齢者施策～居場所作りと担い手支援」に関連する取り組みとして地域の支えあい、助けあいの関係づくりを進めるために、地域みんなが集える開放的な居場所「よりどころ」の運営者を集め、令和5年3月23日（火）に「よりどころ交流会～みんなであつながる「よりどころの輪」～」を実施した。

当日は、41名の運営者の方とよりどころ運営に協力してくれる新たな担い手としてパートナーシップ事業者4社が参加し、民間事業者等が協力できる地域貢献活動の紹介やよりどころ運営での困りごとや良かったこと、地域の居場所の必要性などについて情報共有を図った。

また、住民から地域の居場所を実施したいという相談に応じ、よりどころの開催に向けて支援を行った。

2. 来年度に向けて

地域の支えあい、助けあいの関係づくりを進めるために、地域みんなが集える開放的な居場所「よりどころ」の機能は、外出機会の場、相談できる場、学べる場、担い手の養成の場などがあります。高齢者の移動の問題に影響されることなく、身近に外出できる地域の居場所となるよう取り組んでいく。

また、地域の担い手不足は、少子高齢化や定年延長等の様々な社会問題の中で深刻となった。

そのため、民間事業者等が地域貢献として取り組む活動とのマッチングを行うことを目的に制度化した地域福祉パートナーシップ事業者認定制度の認定事業者数の増加に向け、働きかけを行っていく。